

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-273	高等学校	家庭	家庭総合	
発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
2 束書	家総 701	家庭総合 自立・共生・創造		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

- ①本書では、人や物や環境との関わりを学ぶことを通して、生涯にわたって生きていく力の基礎を身に付けられるように配慮しています。生活に係る見方・考え方を働かせて、人の命や自分の生活、また資源や環境が持続可能となるような社会を目指すということを、SDGsの理念とともに最初の見開きで示しています。
- ②本書の各章は、次のように構成されています。1章では自分らしい人生をつくるとはどういうことかを考えるところから学習を始め、2章から5章までで家族や地域の人、子どもや高齢者との共生について学び、6章から8章では毎日の生活を支える衣食住の技能・技術について学び、9章では自分たちを取り巻く消費生活や経済の仕組みを、10章では持続可能な生活について学びます。そして11章は、1章から10章までの学習を総合して、今後の自分の生活を創造していく視点から構成しています。
- ③学習したことを自分の生活に戻すために、ホームプロジェクト、学校家庭クラブ活動を重視しています。自分の生活の中から課題を見つけ、家庭科の学習を生かして解決方法を探るという問題解決のプロセスを身に付け、繰り返し取り組むことでよりよい生活を創造することを目指しています。生徒にとっては、課題を見つけるところまでが難しいという実態に配慮し、4～5ページと各章末のページとを使って、課題発見のヒントを具体的に扱っています。また、学習したことをより積極的に生活に生かせるように、6～9ページやそれぞれの内容において多くの実践例を紹介しています。
- ④自分の人生を創造するうえで、目標を持って、キャリアを積み重ねることの重要性に気付かせるため、生活設計の内容を1章と11章に分け、家庭科の学習の始めと終わりに学べるようにしています。また、職業を意識して、進路を考えることができるように、各章末にその章の内容と関連する職業に就いている人の生き方を紹介しています。
- ⑤全世界的な取り組みが求められる環境問題に対応するため、消費者としてのあり方を9章で示すとともに、持続可能な生活を営むという視点で10章を独立させました。また、衣食住の各章でも、環境の視点からそれぞれの内容と関連する課題について扱っています。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
家庭科の学び方	A～D	見返し1～ 見返し2ページ	1 (計1)
生活に生かそう	D	4～9ページ	3 (計3)
第1章 生涯を見通す			
1 人生を展望する	A(1)	10～15ページ	2
2 目標を持って生きる	A(1)	16～19ページ	1 (計3)
第2章 人生をつくる			
1 人生をつくる	A(2)	20～27ページ	4
2 家族・家庭を見つめる	A(2)	28～35ページ	4
3 これからの家庭生活と社会	A(2)	36～41ページ	3
ホームプロジェクト	D	42ページ	
私のキャリア	A(1)	43ページ	
			(計11)
第3章 子どもと共に育つ			
1 命を育む	A(3)	44～47ページ	1
2 子どもの育つ力を知る	A(3)	48～55ページ	5
3 子どもと関わる	A(3)	56～61ページ	6
4 子どもとの触れ合いから学ぶ	A(3)	62～65ページ	3
5 これからの保育環境	A(3)	66～73ページ	3
ホームプロジェクト	D	74ページ	
私のキャリア	A(1)	75ページ	
			(計18)
第4章 超高齢社会を共に生きる			
1 超高齢・大衆長寿社会の到来	A(4)	76～79ページ	2
2 高齢期の心身の特徴	A(4)	80～85ページ	4
3 高齢者の自立を支える	A(4)	86～89ページ	4
4 これからの超高齢社会	A(4)	90～91ページ	2
ホームプロジェクト	D	92ページ	

私のキャリア	A(1)	93ページ	(計12)
第5章 共に生き, 共に支える			
1 私たちの生活と福祉	A(5)	94～95ページ	1
2 社会保障の考え方	A(5)	96～97ページ	2
3 共に生きる	A(5)	98～99ページ	2
誰もが暮らしやすい社会を目指して	A(5)	100～101ページ	
			(計5)
第6章 食生活をつくる			
1 食生活の課題について考える	B(1)	104～109ページ	3
2 食事と栄養・食品	B(1)	110～121ページ	7
3 食品の選択と安全	B(1)	122～125ページ	3
4 生涯の健康を見通した食事計画	B(1)	126～131ページ	3
5 調理の基礎	B(1)	132～149ページ	10
6 食生活の文化と知恵	B(1)	150～153ページ	2
7 これからの食生活	B(1), C(3)	154～157ページ	2
ホームプロジェクト	D	158ページ	
私のキャリア	A(1)	159ページ	
			(計30)
第7章 衣生活をつくる			
1 被服の役割を考える	B(2)	160～165ページ	3
2 被服を入手する	B(2)	166～173ページ	5
3 被服を管理する	B(2)	174～179ページ	3
4 被服を作る	B(2)	180～191ページ	10
5 衣生活の文化と知恵	B(2)	192～195ページ	1
6 これからの衣生活	B(2), C(3)	196～199ページ	2
ホームプロジェクト	D	200ページ	
私のキャリア	A(1)	201ページ	
			(計24)
第8章 住生活をつくる			
1 住生活の変遷と住居の機能	B(3)	202～209ページ	5
2 安全で快適な住生活の計画	B(3)	210～215ページ	3

3 住生活の文化と知恵	B(3)	216～219ページ	2
4 これからの住生活	B(3), C(3)	220～225ページ	2
ホームプロジェクト	D	226ページ	
私のキャリア	A(1)	227ページ	
衣食住とライフステージの関わりを考えよう	A(1)	228～229ページ	
			(計12)
第9章 経済生活を営む			
1 情報の収集・比較と意思決定	C(2)	230～233ページ	2
2 購入・支払いのルールと方法	C(2)	234～237ページ	3
3 消費者の権利と責任	C(2)	238～241ページ	2
4 生涯の経済生活を見通す	C(2)	242～243ページ	2
5 家計をマネジメントする	C(2)	244～249ページ	5
6 これからの経済生活	C(2), C(3)	250～251ページ	1
			(計15)
第10章 持続可能な生活を営む			
1 持続可能な社会を目指して	C(3)	252～255ページ	2
2 一人一人の力で社会を動かす	C(3)	256～259ページ	1
ホームプロジェクト	D	260ページ	
私のキャリア	A(1)	261ページ	
			(計3)
第11章 これからの生活を創造する			
1 生活をデザインする	A(1)	262～267ページ	3
			(計3)
マナーを身につけよう	B	268～269ページ	
食品成分表, アミノ酸成分表	B(1)	270～271ページ	
四季を楽しむ和食すごろく	B(1)	見返し5～ 見返し6ページ	
* 1 各章末の「ホームプロジェクト」の配当時数は巻頭の「生活に生かそう」, 「私のキャリア」, 「衣食住とライフステージの関わりを考えよう」の配当時数は第1章に含まれます。 * 2 巻末資料の「食品成分表, アミノ酸成分表」, 「四季を楽しむ和食すごろく」の配当時数は第6章, 「マナーを身につけよう」の配当時数は第6, 第7, 第8章に含まれます。			
計			140